

公益財団法人子ども教育支援財団主催 教育シンポジウムの報告

不登校の何が問題なのか

～不登校生徒の進路選択について～

令和2年2月11日（火・祝）14時00分から公益財団法人子ども教育支援財団福岡校3Fホールにおいて公益財団法人子ども教育支援財団主催の教育シンポジウムが行われました。参加者71名で、対象の御家族の方のほか教育関係者（小、中、高、大、大学院ほか）・委員会関係・行政関係者・大学院の学生など幅広く参加されていました。前半は不登校経験がある通信制高校の生徒さんのインタビュー。後半は私、ぼちぼちの会会長木村が講師として「不登校の何が問題なのか～不登校生徒の進路選択について～」をテーマに講演をさせていただきました。



第一部では「公益財団法人子ども教育支援財団」の斉藤先生が高1の男女2名、高2女子、高3男子の通信制高校在学生徒4名とインタビュー形式で進めていかれました。

高校入学前から現在の学校生活。気持ちの変化や、学校に通いながら学校生活・日常生活の中で困っていたことや、辛かったこと。保護者や周囲の人との関係。そして、してほしかったことや言ってほしかったことなど。自分の進路についての悩みなど、多岐にわたりました。最後に自分が頑張っていることや伝えたいことを話してくれました。

一番印象に残ったのは4人とも「いろいろ言わずにそっとしておいてほしかった」ということでした。私の経験でも不登校を経験した子どもたちは「当時はとりあえず話を聞いてそっと一緒に寄り添ってくれればいい。否定せずに受け入れてほしかった。」といます。無理に理由を追及しても子どもを苦しめるだけだということも多いものです。講演の中で

も話しましたが「大人と子どもの関係の関係をもう一度見直すこと。視点の違いが意識の違いになってお互いの理解を難しくしている。視線が変わると見えてくるものが変わる。子どもは理解してないのではなく納得するための時間がかかるということです。一番大事なのは子どもの考え方や立場を理解することなので「不登校の子どもは何に困っているのか」を説明しました。最後にいろいろな場面での対応例を引きながら具体的な支援の方法について説明しました。終わりに「子育てに失敗はない。ただ親の思った通りに育つ子はいない」という話をさせていただき終了しました。

内閣府認定 公益財団法人子ども教育支援財団 主催 教育シンポジウム

不登校生徒の進学における さまざまな 進路選択について

2020年
2月11日(火・祝)
日時 14:00 ~ 16:00
(13:30 開場)

～保護者・教育関係者と共に考える～

お子様の思春期や不登校に関するお悩みは、孤独に抱え込まないでください。このシンポジウムでは、思春期を暮らす中高生、小中学校時代に不登校を経験し克服した中高生へのインタビューを交えながら、大人にできる具体的な支援策を専門家に解説していただけます。まずはご参加いただき、その子に合った「支援策」を一緒に考えていきませんか？

第1部 不登校を克服した生徒の体験発表

第2部 専門家による基調講演 質疑応答

講師 木村 素也先生

不登校生保護者会「ぼちぼちの会」会長

対象 保護者・教育関係者

費用 1人 1,000円
(ご夫婦で参加の場合は1組1,000円。会員は無料。)

後援 福岡県教育委員会・福岡市教育委員会

主催・会場 子ども教育支援財団福岡分室
〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾1-7-47

・ 教育シンポジウム お申込み方法 ・

お電話でのお申込み

092-534-6225

主催財団の福岡分室までお電話下さい。(平日9:00-17:00)

FAXでのお申込み

092-707-0994

この用紙の下の表にご記入いただき、FAXしてください。

メールでのお申込み

fukuoka_info@kodomo-zaidan.net /

メール内に「シンポジウム参加希望」と件名に明記し、参加者氏名・郵便番号・住所をご記入いただきメールして下さい。
*携帯電話からのお申込みもできます。

URL よりお申込み

<http://www.tokyo-taishi.net/campus/fukuoka/>

申込み締切 2月8日(土)

